

教えて!

富山 けいざい



セルフレジって?

◆利用客自ら精算/コロナ追い風導入加速

Q-最近、よく目にするのがセルフレジかしら。

A-そう。スーパーやコンビニといった小売店をはじめ、飲食店やCD・DVDのレンタルショップなどで設置されている、利用客自らが精算を行うレジのことです。セルフレジには、従来のように商品のバーコードのスキャンまでは店員が行い、支払いだけを客が精算機で行う「セミセルフレジ」と、商品のバーコードのスキャンから支払いまで全て客が行う「フルセルフレジ」があります。さらに専用レジで複数の商品を入れたかごを置くと、商品情報を書き込んだRFIDタグ（ICタグ）を一瞬で読み込み、支払い金額が表示されるセルフレジも出てきています。

Q-どんなメリットがあるの。

A-レジの接客時間短縮によって混雑が解消できたり、お釣りを渡す際に間違いがなくなるといったことが挙げられます。

フルセルフレジであれば、購入する商品を店員が見ることがなく、客にとって購入点数が少なくても利用しやすいといった心理的なメリットがあります。店側にとっては、レジ業務の省力化や省人化ができ、人手不足の解消にもつながるでしょう。

Q-導入は進んでいるの。

A-2019年に実施された「スーパーマーケット年次統計調査」によると、セミセルフレジの設置率は57.9%で増加傾向にあります。新たに設置したい企業は21.0%、設置数を増やしたい企業は30.9%です。また、大手コンビニ各社も全国的にセルフレジの導入を進めています。

最近では客と店員との接触を減らすことができるとして、新型コロナウイルスの感染防止対策としても注目されています。流通業界では今後、「新しい生活様式」の一環としてさらに浸透していくと考えられます。

(北陸経済研究所の吉田聡子が解説しました。随時掲載します)

